

事業報告書

本年度は、平成から令和に時代が移行された年でもあり、本協議会においても国が提唱する「地域共生社会」の実現を目指し、泉佐野市からの受託事業であった地域包括支援センターと基幹相談支援センターを一元化し、引き続き高齢・障がい等への総合相談に加え、生活困窮・母子支援・自殺対策等の新たな事業を受託し、世帯全体の複合化・複雑化した課題を包括的に受け止める“丸ごと”相談支援の実施、さらに第1層に加え新たに第2層生活支援コーディネーター2名を受託配置しCSWと連携しながら“我が事”の地域づくりに取り組んだ。

地域福祉事業については、14 地区福祉委員会に引き続き地区担当職員を配置し地区福祉委員会活動の諸事業への支援を行い、担い手の高齢化や新たに地域福祉活動に取り組んでいただける協力員確保の課題もあるが、コミュニティカフェの開設箇所が徐々に増えてきている。

ボランティアセンター事業については、ボランティアフェスティバル・チャリティバザー・ふれあいクリスマス会・ボッチャ交流大会を開催し、多くの参加者を得ることができた。サロン・ド・ボランティアを核としたボランティア活動の需給調整については、ボランティアの個人登録数が低迷してきており新たな個人ボランティアの確保が喫緊の課題となった。

社協サテライト（シャッピーハウス）においては、掘り出し市の開催や会議室の貸し出しを行い効率的な利用促進に努めた。

日常生活自立支援事業については、認知症高齢者よりも知的・精神障がい者との契約件数が増えてきており、長期的な支援が必要となっている。

災害発生時に備え、地域の絆登録事業を市関係課と定期的な連携会議を開催し、連携強化を図った。

また、台風 19 号に伴う被災地支援として栃木県佐野市へ 0 泊 3 日のボランティアバスを運行し 19 名（内、職員 5 名）の参加があり、参加者への食事支援として泉佐野中央ライオンズクラブ様より支援があった。

自主財源確保のため、引き続き会員会費・赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金に努めた。

泉佐野市民生委員児童委員協議会の運営については、引き続き連携を密にし事務局として支援を行った。

高齢者・障がい者等社会的弱者の方々にも住みよい地域福祉の推進に関係者・関係機関と連携し以下のとおり取り組んだ。

なお、3月に入り新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、予定していた諸会議・諸事業をできる限り自粛した。

〔1〕法人運営関係

法人の運営を円滑にするため下記の会議、研修会を開催した。

(1) 定例理事会の開催	1 1 回
(2) 三役会の実施	4 回
(3) 定例評議員会の開催（書面決議含む）	3 回
(4) 監査の実施	1 回
(5) 評議員選任・解任委員会の開催	2 回
(6) 理事・監事・職員合同研修の実施	1 回

開催日 / 令和元年 8 月 17 日（土）

内 容 / 災害ボランティアセンター設置訓練

場 所 / 社会福祉センター 大会議室

参加者 / 役職員 45 名

〔2〕地域福祉事業の推進

平成 7 年度より取り組んでいる『小地域ネットワーク活動』は市内すべての地区で一人暮らし高齢者や高齢者・障がい者世帯等への個別支援活動や、町内会館等でのふれあいいきいきサロン活動や子育てサロン、世代間交流会などが積極的に開催された。

平成 25 年度から継続して行っている「地域の暮らしを話す会」については、各地区福祉委員会を単位として開催し、地域課題の把握や、解決に向けた話し合いの場の設定を行うことができた。そのことによって、「コミュニティカフェ」型のいきいきサロン活動が増えるなど、具体的に新たな活動の広がりにもつながっている

2 月以降は新型コロナウイルス感染拡大により、研修会や各種サロンの開催が延期・中止となった。

1. 小地域ネットワーク活動地区の指定

《 7 年度～》	(1) 日新地区福祉委員会連合会・・・ [4 支部]
	(2) 佐野台地区福祉委員会・・・ [4 支部]
	(3) 北中地区福祉委員会・・・ [3 支部]
	(4) 三小地区福祉委員会・・・ [3 支部]
	(5) 末広地区福祉委員会・・・ [6 支部]
《 8 年度～》	(6) 一小地区福祉委員会・・・ [8 支部]
《 9 年度～》	(7) 長滝地区福祉委員会・・・ [5 支部]
《10 年度～》	(8) 上之郷地区福祉委員会・・・ [7 支部]
《11 年度～》	(9) 大土地地区福祉委員会・・・ [2 支部]
《12 年度～》	(10) 長坂地区福祉委員会・・・ [8 支部]
《13 年度～》	(11) 日根野地区福祉委員会・・・ [9 支部]
《14 年度～》	(12) 南中地区福祉委員会・・・ [4 支部]
	(13) 中央地区福祉委員会・・・ [6 支部]
《15 年度～》	(14) 二小地区福祉委員会・・・ [9 支部]

2. 連絡会の開催

- (1) 地区福祉委員会連絡会の開催 4回
(2) 支部連絡会の開催 1回

3. 研修会・講座等の開催

- (1) 子育てサロン実施地区研修会・連絡会

開催日 / 令和元年10月17日(木)
内 容 / スマイルサポーターとボランティアの意見交換
参加者 / 42名(福祉委員会、スマイルサポーター等)

- (2) 小地域ネットワーク活動報告集会の開催

開催日 / 令和2年2月19日(水)
内 容 / ◆実践報告『おしゃべりカフェで広がる交流の輪』
①東羽倉崎自治会支部福祉委員会
東羽倉崎町支部福祉委員会
②社会福祉法人 いちちょうの森 work&oasis 花筏
◆記念上映会 「ぼけますから、よろしくお願いします」
参加者 / 276名(地区関係者・福祉事業関係者・一般市民含む)

- (3) 小地域を支えるボランティア講座

より市民に近いところで開催できるように、出張講座として行えるようにメニュー表の整備などを行った。

日時	地区	内容
4月26日(金)	日根野地区	地区福祉委員会について
5月13日(月)	野々地蔵支部	地域における居場所づくり活動の意義
7月24日(水)	長滝地区	現代社会の福祉課題について
9月6日(金)	南中地区	小地域ネットワーク活動について
9月27日(金)	日根野地区	地域の暮らしを話す会の目的
10月21日(月)	上之郷地区	他地区での取り組み事例紹介
11月22日(金)	一小地区	地域における居場所づくり活動の意義
11月23日(土)	大木支部	コミュニティカフェの取り組みについて
3月26日(木)	野々地蔵支部	福祉委員会活動について

- (4) 学校における福祉教育への協力

日時	学校	対象	内容
9月26日(木)	第三小学校	1~6年生	車いす体験・高齢者疑似体験・アイマスク体験
10月3日(木)	長南小学校	3年生	車いす体験
11月29日(金)	中央小学校	6年生	高齢者福祉について・認知症キッズサポーター講座

4. 小地域ネットワーク活動の実績

《個別訪問活動》

項目 支部	ネット数 (世帯)	月1回以上の定期的な訪問			延べ 訪問回数 (回)	延べ 訪問人数 (人)	登録協 力員数
		65歳以上 独居高齢者	65歳以上 高齢者世帯	その他 障がい者他			
日新地区	167	162	0	5	1,964	4,730	119
佐野台地区	243	190	49	4	11,127	17,924	46
北中地区	244	243	0	1	2,847	5,235	70
三小地区	93	85	4	4	1,977	3,923	77
末広地区	55	52	2	1	1,123	2,126	100
一小地区	181	179	0	2	3,079	4,709	159
長滝地区	70	59	5	6	1,487	3,317	88
上之郷地区	55	47	7	1	881	1,021	100
大土地地区	49	44	5	0	583	991	53
長坂地区	250	210	30	10	4,898	10,841	155
日根野地区	168	151	17	0	2,355	3,674	216
南中地区	155	155	0	0	2,266	4,758	80
中央地区	205	203	1	1	3,376	8,231	94
二小地区	181	177	0	4	2,951	7,126	129
合計	2,116	1,957	120	39	40,914	78,606	1,486

《グループ支援活動》

項目 支部	実施回数 (計)	グループ支援活動内訳			参加者内訳	
		いきいきサロン	世代間交流会	子育てサロン	対象者	関係者
日新地区	176回	151回	2回	23回	3,093名	691名
佐野台地区	129回	125回	4回	0回	3,610名	980名
北中地区	41回	25回	8回	8回	1,910名	451名
三小地区	129回	58回	4回	67回	1,822名	745名
末広地区	83回	58回	3回	22回	1,433名	406名
一小地区	726回	635回	30回	61回	9,015名	4,117名
長滝地区	66回	47回	7回	12回	995名	698名
上之郷地区	64回	51回	4回	9回	864名	312名
大土地地区	53回	47回	6回	0回	1,329名	243名
長坂地区	398回	370回	28回	0回	5,242名	1,336名
日根野地区	303回	268回	13回	22回	4,616名	1,065名
南中地区	90回	55回	25回	10回	1,363名	516名
中央地区	145回	87回	1回	57回	1,471名	498名
二小地区	345回	287回	38回	20回	3,090名	940名
合計	2,748回	2,264回	173回	311回	39,853名	12,998名

5. 地域の暮らしを話す会の実施

地区	日 時	場 所	人数
日 新	10月27日(日) 14:00～	上瓦屋町会館	31名
佐野台	9月28日(土) 19:30～	佐野台集会所	25名
北 中	11月9日(土) 19:00～	鶴原町会館	35名
三 小	11月30日(土) 10:00～	新町会館	17名
末 広	12月12日(水) 19:00～	東羽倉崎南町集会所	25名
一 小	2月21日(金) 19:00～	西本町町会館	40名
長 滝	7月24日(水) 15:00～	長滝第一町内会館	43名
	9月25日(水) 14:00～		43名
	11月27日(水) 15:00～		43名
上之郷	10月21日(月) 19:00～	上之郷小学校多目的室	18名
大 土	11月23日(土) 19:00～	大木小学校交流棟	39名
長 坂	10月29日(火) 19:00～	次世代育成地域交流センター	36名
日根野	11月16日(土) 19:00～	日根野町会館	31名
南 中	9月6日(金) 19:00～	南部市民交流センター	47名
中 央	11月30日(土) 10:30～	中町町会館	16名
二 小	10月25日(金) 19:00～	高松総合会館	14名

延べ参加者 503名

6. 地域福祉活動計画の推進

(1) 地域福祉活動計画推進委員会の開催

3回

7. 生活支援体制整備事業

平成30年度より第1層生活支援コーディネーターを1名配置、令和元年度には第2層生活支援コーディネーターを2名配置し、住民による支えあい活動を推進した。

地域支えあい学習会は、今年度には定期開催し、学習の機会だけでなく、多様な主体が新たな支えあい活動の企画・運営に参画することができる第1層協議体「泉佐野わいわいの輪」として運営していくこととした。

(1) コミュニティカフェ実施主体連絡会の開催

開催日 / 令和元年10月30日(水)

参加者 / 22名

(2) 泉佐野わいわいの輪(第1層協議体)の運営

日時	主な内容	参加者数
6月19日 (水)	・社会資源についての情報共有	21名
8月27日 (火)	・地域の情報を見やすく、わかりやすくするため私たちにできること	15名
10月21日 (月)	・地域資源マップをみんなで作ろう ・ICTを活用した社会資源マップづくりについて ※大阪府社協地域福祉部 出席	16名

日時	主な内容	参加者数
12月16日 (月)	・地域資源マップをみんなで作ろう ・地図情報以外の情報の整理について	14名
2月21日 (金)	・今年度の振り返り ・来年度に向けての課題抽出	12名

(3) 各種会議への参画

①生活支援体制整備事業事務局会議（担当者打ち合わせ会議含む）

②その他の会議

地域福祉計画推進審議会・地域福祉活動計画推進委員会、地域福祉計画庁内検討会議、地区福祉委員会連絡会、社協地区担当者会議、地区担当者連携全体会議、エリア会議、地域の絆づくり担当者会議、CSW 連絡会議、医療介護連携事業事務局会議、地域ケア全体会議、自立支援型地域ケア会議、福祉避難所ワーキング

(4) 生活援助サービス従事者研修の実施

開催日 / 令和2年2月25日・3月6日・9日【3日間】

午前9時30分～午後2時30分

修了者 / 11名

〔3〕災害に強い街づくり事業の推進

地域福祉活動支援の一環として、必要に応じて情報提供や相談支援を行った。

1. 災害時図上訓練用マップの提供 0地区

2. 自主防災会組織等への活動支援・出席等

防災関係相談支援：延 157 件

訓練・会議等出席状況

開催日	地域	内容
11月3日(日)	長滝地区	ICTを活用した安否確認の見える化
	大西町	災害時の障がい理解
	北中地区	各町防災訓練への参加

3. 研修会の開催

(1) 災害に強い街づくり研修会の開催

開催日 / 令和2年2月12日(水)

内容 / 『災害に強いまち泉佐野』を目指す協働研修
～地域との連携と事業所の役割～

参加者 / 44名(訪問・通所事業所)

4. 災害ボランティア事前登録事業

(1) 事前登録事業 登録者 35名

(2) 講習会・訓練等の実施

①ボランティアバス実施の案内

②大阪880万人訓練の実施

5. ボランティアバスの実施

①事前説明会

開催日 / 11月8日(金) 19時00分～20時30分

場所 / 社会福祉センター 大会議室

内容 / ボランティアバス事前説明

参加者 / 7名

②ボランティアバス

日時 / 11月15日(金) 20時50分発～11月17日(日) 3時00分着
(活動は11月16日(土) 9時～15時)

活動先 / 栃木県佐野市災害ボランティアセンター

参加者 / 19名(内、職員5名)

6. 被災地支援ボランティア助成事業

(1) 助成対象者数 / 15名

(2) 助成金額 / 83,400円

〔4〕ボランティアセンター事業の推進

ボランティアセンター運営委員会により、ボランティアセンターの運営及びボランティア講座・研修会やイベントの検討、開催を行った。また新規ボランティア発掘のために、ボランティアフェスティバルの開催、専門的なボランティア活動への啓発や新規ボランティア登録発掘のためにボランティア入門講座～朗読編～を開催した。

また、5名のボランティアアドバイザーがボランティアの相談にのり、施設(団体)との調整役として活動した。

1. 各種会議の開催

(1) ボランティアセンター運営委員会の開催 4回

(2) ボランティアアドバイザー連絡会の開催(サロ開催時) 10回

(3) 登録ボランティアグループ連絡会の開催 1回

2. サロン・ド・ボランティアの開設とボランティア活動のコーディネート

(1) 個人登録ボランティア

毎月開催のサロン・ド・ボランティアにおいてボランティア活動のコーディネートを行った。2月以降は新型コロナウイルス感染症拡大により、サロン・ド・ボランティアと活動の需給調整が中止となっている。本年度の3月末の登録ボランティアは163名、延べ活動人数は1,569名である。内訳は表のとおり。

分野	施設名	活動内容	延べ活動者数
保育	木馬園	一時保育	47名
高齢者	幸テ伊ヒセンター	話し相手、レクリエーション補助	5名
	泉ヶ丘園	外出付添、レクリエーション補助	35名
	アムリタ	話し相手、レクリエーション補助	63名
	グループホーム泉州	レクリエーション補助	80名

高齢者	暢楽荘	レクリエーション補助	52名
	犬鳴山荘	レクリエーション補助	20名
	エルダーケア	レクリエーション補助	283名
	栄公苑	レクリエーション補助	178名
	ラポート	レクリエーション補助	36名
	ホライズン	レクリエーション補助	64名
障がい者 (児)	スポーツ教室	スポーツ介助	50名
	ぎんなん	作業補助	8名
	ふ・ふ・ふ	作業補助	70名
	ささゆり作業所	イベント手伝い	35名
	いいね	レクリエーション補助	80名
	花筏	作業補助	38名
	ルリエ	レクリエーション補助	67名
社 協	声のボランティア	市報朗読	101名
	行事	イベント手伝い	92名
	サロン・ド・ボランティア	サロン喫茶	108名

(2) グループ登録ボランティア

ボランティアグループの育成・支援をするためにボランティアセンターや福祉センターの会議室や機材等の貸し出しを行い、また、社協事業において登録グループに協力を求め、外部からの派遣依頼に対しグループの紹介を行った。

3月末の登録ボランティアグループは12グループである。

ボランティアセンターからの活動依頼及び紹介による活動実績は下記のとおり。

グループ名	活動内容	活動回数	延べ活動者数
手話サークル いちょう	手話通訳（社協チャリティバザー）	1回	3名
	手話通訳（社協ふれあいクリスマス会）	1回	2名
	手話通訳（ボランティアフェスティバル）	1回	8名
リフォーム なでしこ	社協ふれあいクリスマス会プレゼント制作	34回	142名
食生活改善推 進協議会	チャリティバザー準備日カレー調理	1回	12名
	ボランティアフェスティバル手伝い	1回	8名

3. 講座及び研修会の開催

(1) ボランティア入門講座～朗読編～

朗読ボランティアの新たな人材確保と、現メンバーのスキルアップを目的としてボランティア講座の朗読編を2日間開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者数
8月7日	社会福祉センター2階	朗読ボランティアについて	11名
8月21日	小会議室	音訳者として必要な技術	10名

4. 居場所と交流機会の提供

(1) シャッピー喫茶の運営

「誰もが立場に関わらず、ふらっと立ち寄れる空間づくり」を目的とし、実施した。飲み物を飲まずとも読書や打ち合わせでも利用する方が増えている。

フリードリンク / 100 円

年間収入 / 78,841 円 延べ利用者数 / 788 名

(2) ほっとサロンの開催

年齢、性別、障がいがあるなしに関係なく誰でもが参加でき、色んな人と出会い、仲間づくりや、社会参加のきっかけになることを目指して実施する。

年10回 延べ参加者数 / 78 名

(3) サテライト事務所「シャッピーハウス」の開設

貸館利用の各種団体やボランティアグループの活動拠点として、シャッピーハウスの運営を継続して行っている。

① 喫茶ルームの運営

年間収入 / 93,297 円 延べ利用者数 / 932 名

② シャッピーハウス掘り出し市の開催

第1回 8月21日(水) 出店数 13区画

第2回 10月8日(火) 出店数 6区画

第3回 12月16日(月) 出店数 10区画

(4) チャリティーショップ (社会福祉センター・シャッピーハウス)

年間売上 合計 135,000 円 (善意銀行収入)

5. 各種行事

(1) 障がい児者ふれあい交流会

障がいのある人もない人も同じ地域住民として、共に楽しむことのできるスポーツであるボッチャを通じて相互の理解と交流を図ることによって障がいへの理解を促進し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めることを目的として開催した。

開催日 / 令和元年8月24日(土)

内容 / ボッチャ

場所 / JCOM末広体育館 大体育室

参加者 / 対象者・同伴者 12名・ボランティア等 25名 合計 37名

(2) ボッチャスクール

東京パラリンピックでボッチャが行われるにあたり、障がいのある人もない人も同じ地域住民として、共に楽しむことのできるスポーツであるボッチャを通じて相互の理解と交流を図ることによって障がい者への理解を促進し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めることを目的として開催した。

開催日 / 令和元年8月6日(火)・22日(木)

内容 / ボッチャ

場所 / JCOM末広体育館 小体育室

協力者 / 対象者・同伴者 35名・ボランティア等 13名 合計 48名

(3) 第41回 社協チャリティバザー

社会福祉関係団体及び協力団体・グループ・市民の協力を得て、あらゆる品物を市価の半額程度で一般市民に販売、売上金はすべて市民の福祉活動のために使用する。 売上金 1,319,114円 (昨年比 -69,944円)

開催日 / 令和元年12月8日(日)

内容 / 物品販売・オークション等

場所 / エブノ泉の森ホール 2階

協力者 / 前日 値付け 80名

当日 各種団体・ボランティア・社協関係者/合計 112名

(4) 第41回 社協ふれあいクリスマス会

障がいをもつ児童や家庭児童相談員や教育委員会が関わっている子どもを対象に開催した。

開催日 / 令和元年12月14日(土)

内容 / 大道芸

場所 / 泉の森ホール レセプションホール

参加者 / 対象児童40名・同伴者74名・ボランティア42名

合計 156名

(5) 第8回 ボランティアフェスティバル

1人でも多くの人たちにボランティア活動について関心を持っていただくとともに、潜在的なボランティアを発掘することと、ボランティア相互の交流を図ることを目的に開催した。

開催日 / 令和元年6月1日(土) 11時00分~14時00分

場所 / エブノ泉の森ホール 花の歩廊

参加者 / 一般参加者300名、出演4団体、ボランティア112名、その他団体(花筏、栄公苑、おひさまとおまんじゅう横丁、泉南地域介護人材確保連絡会)

6. 善意銀行 寄託・払い出し状況

寄託件数	31件
寄託金額	1,591,594円
寄託物品	日用雑貨品、じゃがいも
被災地支援ボランティア活動助成金	530,000円

払い出し件数	8件
--------	----

払 出 金	① 障がい児のためのサマースクール	50,324 円
	② 社協だより発刊	190,000 円
	③ ボランティアフェスティバル開催諸費	252,280 円
	④ チャリティバザー開催諸費	155,850 円
	⑤ ふれあいクリスマス会開催諸費	301,100 円
	⑥ 障害児者ふれあい交流会	20,220 円
	⑦ 心配ごと相談事業	143,416 円
	⑧ 災害ボランティアバス助成	650,000 円
	合 計	1,763,190 円

〔5〕 総合相談事業の推進

『心配ごと相談所』の相談実績は以下のとおりで、内容に応じて関係機関等と連携し、問題解決の調整を行った。

1. 心配ごと相談所の開設

相談員数	14名
開設延日数	40日（うち出張相談1日）
出席延相談員数	76名
相談者数	22名（うち出張相談5名）
相談件数	20件（うち出張相談5件）
相談員連絡会議	3回
出張相談	10月2日(水) 相談員8名 いこらも～る泉佐野

※相談状況

内容 対象者	家族関係	人間の 関係	病 気	仕 事	法 律	金 銭 関 係	そ の 他	計
高 齢 者	7	1	0	0	1	0	1	10
障 が い 者	0	0	0	0	0	0	0	0
子育て中の親	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	4	0	2	1	0	2	1	10
計	11	1	2	1	1	2	2	20

※対応

傾聴	17件
助言	9件
他機関紹介	4件（基幹包括支援センター1件、都市計画課1件、 クリニック1件、こころの健康相談1件）

〔6〕 コミュニティソーシャルワーカー（CSW）事業の推進

委託先の各法人CSWと緊密な連携をとりながらCSW事業の体制強化とネットワークの構築を行った。昨年度と比べ相談者数（実人数）は減ったものの延べ対応件数は増加し

ており、相談者一人に対する対応が多様化している。

C S W連絡会にて各C S Wの全ケースを共有し、支援方針を1人で悩まないような体制をとっている。

1. 各種会議の開催

- (1) 管理者担当者合同連絡会の開催 1回
- (2) C S W連絡会議の開催 12回

2. 地区担当C S W活動支援（統括C S W）

<p>【地区担当C S W】 社協（新池中校区）・水平会（第三中校区）・泉ヶ丘福祉会（佐野中校区） 常茂恵会（長南中校区・日根野中校区）</p>

- (1) 地区C S W後方支援（個別ケース等） 50件
- (2) 地区C S Wへのつなぎ 1件
- (3) ケース検討会議 1件
- (4) ネットワーク構築のための会議出席（ケース検討会議を除く） 14件

3. 新池中学校区活動実績（個別相談）

(1) 対象者別

相談対象者	延べ件数	実件数
高齢者	146	26
1人暮らし	109	18
高齢者のみ世帯	32	7
その他高齢者	5	1
障がい者	221	12
身体障がい者	0	0
知的障がい者	0	0
精神障がい者	221	12
子育て中の親子	14	2
一人親家庭の親子	22	2
青少年	6	2
DV被害者	0	0
ホームレス	0	0
外国人（中国帰国者を含む）	0	0
その他	67	8
低収入（無職含む）	3	1
引きこもり	13	3
障がい疑い（疾病疑い）	4	1
DV加害者、虐待	0	0
その他	47	3
合 計	476	52

(2) 相談内容別

相談内容	対応延べ件数
福祉制度・サービスに関する相談	431
生活に関する身近な相談	464
健康・医療に関する相談	153
生活費に関する相談	77
就労に関する相談	52
財産管理・権利擁護に関する相談	13
多重債務に関する相談	2
DV・虐待に関する相談	5
地域福祉・ボランティアに関する相談	24
住宅に関する相談	30
子育て・子どもの教育に関する相談	45
その他	50
近隣トラブル（人間関係）	19
家族関係	31
その他	0
合 計	1,346

〔7〕在宅福祉活動の推進

公的サービスで支援できない在宅要援護者の生活上の困りごとを支援するために、『有償協力員派遣事業』（おたがいさまの会）を行い、病院の通院付添いや、入院時の買物・洗濯などの支援、墓掃除など多様なニーズに対して支援を行った。

その他、外出困難な高齢者や障がい者等に対して『福祉車両』及び『車椅子』の貸し出しを行った。

1. 有償協力員派遣事業「おたがいさまの会」

- (1) 会員の登録状況 協力会員 / 22名 利用会員 / 28名
- (2) 支援状況 延べ369時間
- (3) 協力員連絡会の開催 1回
- (4) 運営委員会の開催 1回
- (5) 説明会の開催 1回

2. 福祉車両貸し出し

利用者数 7名 / 貸出回数 延べ33回

3. 車椅子貸し出し

利用者数 24名 / 貸出回数 延べ51回

〔8〕高齢者世帯への支援〈基幹包括支援センター〉（旧：地域包括支援センター事業）

「高齢者が安心して地域で生活を送ることができる」ことを目的に活動してきた地域包括

支援センターは、複合課題や全ての世代を対象として受け止める総合相談窓口を持つ基幹包括支援センターとして本年4月から開設した。

介護予防業務として、高齢者が要介護状態にならないように要支援者などに介護予防計画の作成や介護予防に関する講演会の開催し、地域からの希望テーマに合わせた出張講座などを実施したり、高齢者・家族を支援する地域の多職種、関係機関との会議や研修、支援を行った。

認知症施策総合推進事業として、認知症の人やその家族の方などが一息できる場としての介護者家族のつどいの開催や開催事業所への後方支援、安全・安心に生活できるよう認知症サポーターを養成し、徘徊者を発見するシステム徘徊SOSネットワークの南泉州圏域に参画した。平成29年度から初期集中支援チーム事業とし医療・福祉の専門職種のチームを組み早期発見・治療の推進や相談を開始した。また、地域での認知症の理解や啓発にWAOいずみさのを開催した。

1. 支援の基盤整備

(1) 高齢者虐待防止活動

高齢者虐待通報への対応件数 41件（うち「虐待あり」判断数18件）

(2) 多職種連携事業

参加機関 12機関

①代表者会議 1回

②事務局会議 11回

③研修会

日時	内容	参加者数
1月30日(木)	いつするの？人生会議	57名
2月28日(月)	住民向け人生会議	中止

2. 総合相談・権利擁護

(1) 相談状況

相談実人数	978名		
相談延べ件数（対応回数）	5,942件		
相談形態内訳	訪問	1,373	23.1%
	来所面接	839	14.1%
	電話	3,730	62.8%

(2) 相談内容

相談内容		件数	割合
介護保険関係	介護保険制度	533	6.1%
	ケアプラン	716	8.3%
	サービス	1,190	13.7%
	施設入所	370	4.3%
	小計	2,809	32.4%

相 談 内 容		件数	割合
介護保険関係以外の 福祉サービス	緊急通報装置など(福祉制度)	117	1.3%
	ボランティアなど(制度外)	171	2.0%
	小計	288	3.3%
医療・保健相談	保健予防	41	0.5%
	入退院など(医療)	1,097	12.6%
	小計	1,138	13.1%
家庭介護・介護者支援	認知症	731	8.4%
	身体介護	7	0.1%
	精神介護	113	1.3%
	家庭環境	971	11.2%
	小計	1,822	21.0%
権利擁護	成年後見制度など	184	2.1%
	財産・経済問題など	671	7.7%
	虐待関係	1,244	14.4%
	その他	28	0.3%
	小計	2,127	24.5%
その他生活上の相談	社会生活など	207	2.4%
	他	286	3.3%
	小計	493	5.7%
合 計		8,677	100%

(3) ブランチ型総合相談業務

委託事業所 5 か所 年間相談件数 161 件

- ・犬鳴在宅介護支援センター
- ・在宅介護支援センター 泉ヶ丘園
- ・在宅介護支援センター ホライズン
- ・在宅介護支援センター 和
- ・ラポート在宅介護支援センター

活動内容 高齢者の相談窓口 虐待・対応困難事例の支援

地域包括ケア会議・高齢者虐待防止ネットワーク会議への参加

3. 包括的・継続的ケアマネジメント

(1) 介護支援専門員に対する支援

ケアマネジャー支援件数 487 件

(相談内容)

支援数	支援内訳 (延べ)				
	ケアマネジメント	社会資源 紹介	主治医 連携	虐待防止	その他
487	144	12	6	71	267

(2) 事業所向け研修会

開催日	内 容	参加者数
6月21日(金)	自立支援型ケアマネジメント	69名
7月23日(火)	課題整理総括表の書き方と活用の仕方	69名
9月18日(水)	事例検討会	44名
10月28日(月)	成年後見制度を中心とした制度について	64名

(3) 介護支援専門員連絡会活動支援

総会 中止 幹事会 4回
6市町村ケアマネジャー合同連絡会 2回

4. 介護予防マネジメント

要支援者・事業対象者に対するケアマネジメント

- (1) 介護予防サービス計画作成数 7,412件
(内訳) 包括作成 378件 委託件数 7,034件
- (2) 介護予防ケアマネジメント作成数 5,547件
(内訳) 包括作成 371件 委託件数 5,176件

5. 出張講座・介護予防教室等

(1) 介護予防・認知症・高齢者虐待・消費者被害などに関する出張講座

24回実施 延べ896名

(2) 介護予防教室

開催日 / 令和元年11月26日(火) 午前10時～11時30分

場 所 / 社会福祉センター 2階 大会議室

内 容 / 講演「いつまでも美味しい食事のために」

講師 大阪府栄養士会 峰川 貴美子先生

参加者 / 35名

6. 認知症施策総合推進事業

(1) 介護者家族のつどい

6回開催 7名参加 13時30分～15時30分 社会福祉センター1階

(2) 認知症ケアパス活用と充実

(3) 認知症サポーター養成講座

- ・開催回数 18回 養成サポーター数 550名 延べ 6,913名
うち、キッズサポーター養成講座(中央小学校) 119名
- ・キッズサポーター養成講座用テキスト作成

(4) 徘徊SOSネットワーク事業

- ・泉州圏域市町村徘徊高齢者等ネットワーク会議への参画
- ・事業普及啓発のチラシ配布
- ・事業周知の出張講座

(5) 初期集中支援チーム事業

- ・事業の周知

- ・支援対象者4名 チーム員会議8回

(6) WAO いずみさの

月 日	開催地区	参加者数
10月31日(木)	日新校区	25名
11月5日(火)	一小校区	58名

7. 介護支援サポーター事業

登録申請者数	登録者数	活動人数 (実数)	活動人数 (延べ)	活動回数 (延べ)
10名	76名	18名	139名	510回

(1) 介護支援サポーター交流会

開催日	内 容	参加者数
12月9日(月)	第1回介護支援サポーター交流会	16名 (うち5施設6名)
3月2日(月)	第2回介護支援サポーター交流会	※新型コロナウイルス 感染症予防の為中止

〔9〕障がい者世帯への支援〈基幹包括支援センター〉(旧：基幹相談支援センター事業)

「障がい者(児)とその家族等が安心して地域で生活を送ることができる」ように様々な活動をしてきた基幹相談支援センターは、8050問題などの複合課題や全ての世代を対象として受け止める総合相談窓口を持つ基幹包括支援センターとして、関係各部署と連携しながら問題共有や解決に取り組んだ。

また相談支援事業所への専門的な相談支援が増えており、専門相談機関との連携については自立支援協議会の専門部会で取り上げ、相談支援事業所のみならずサービス提供事業所向けに研修会を開催し意識づけを図った。

1. 基幹相談支援センター業務

(1) 総合相談とスクリーニング機能

身体障がい、知的障がい及び精神障がい等に対応した総合相談窓口の設置並びに特定相談支援事業所及び一般相談支援事業所への適切なつなぎを行った。

●相談状況

相談実人数		346名
相談延べ件数(対応回数)		5,271件
相談形態内訳	訪問	507件
	来所面接	284件
	出張相談	0件
	同行	98件
	電話	1,840件
	メール	10件
	関係機関連絡調整	2,361件

相談形態内訳	個別支援会議	136件
	その他	35件

●相談内容延べ件数：7,850件

相談内容	延べ件数
福祉サービスの利用等	3,027件
障がいや病状の理解	847件
健康・医療	624件
不安の解消・情緒安定	410件
保育・教育	153件
家族関係・人間関係	417件
家計・経済	492件
生活技術	6件
就労	274件
社会参加・余暇活動	169件
権利擁護	1,323件
その他	108件

(2) 相談支援事業所に対する後方支援（専門相談機能） 延べ591件

(3) 自立支援協議会の事務局運営

事務局会議 6回

全体会・定例会・専門部会他会議の運営 7回

(4) 事業所連絡会のコーディネート

開催日	内容	参加者数
2月17日(月)	強度行動障がいについて学ぼう！！	35名

(5) 相談支援体制強化（会議等の参加）

「小児在宅医療ケア連絡会」「泉佐野市相談事業連絡会」「ジョブネット泉州南」「精神保健福祉関係機関職員連絡会」「泉南ブロック進路指導関係連絡会」「泉南支援学校進路懇談会」

(6) 啓発活動

・福祉教育 2小学校に出張

(7) 講師派遣

開催日	内容
9月8日(日)	末広地区福祉委員会「障がい理解について」
9月27日(金)	三小地区福祉委員会「障がい理解について」
10月8日(火)	西佐野台出張講座
11月22日(金)	一小福祉委員会出張講座
12月4日(水)	統合失調症家族教室
12月16日(月)	日新地区推進委員会・研修・交流会

2. 障がい者虐待防止センター業務

通常業務の他、休日夜間対応の通報ダイヤルを設置し障がい者虐待に関する相談・通報を受付した。

- ・障がい者虐待通報受理件数 34件
- ・障害者虐待会議（レビュー会議） 泉佐野市1回
田尻町0回

3. 権利擁護支援センター業務

- (1) 法律相談 弁護士による個別相談 62件
- (2) 市民後見人関係：受任者4名
 - ・受任者の相談、書類提出支援など
 - ・養成講座オリエンテーション広報

4. 障害支援区分認定調査業務

障害福祉サービスを利用するために必要とされる支援の度合いを、全国一律の基準に基づき公平性と客観性の観点で調査業務を行った。

(1) 調査業務

	年間合計
更新調査数	198
新規調査数	164
区分変更	17
合計	379
うち市外（高石以南）	42

[10] 経済的困窮世帯への支援〈基幹包括支援センター〉

本年度より受託した生活困窮者自立支援事業では、経済的に困窮されている市民に対して個別面談・就労準備支援講座の開催や就労体験の調整・家計改善支援などの支援などを行った。

- (1) 新規相談受付数 139件
- (2) 支援調整会議の開催 12回
- (3) 就労準備支援講座の開催（※連続講座）

	開催日	内容	参加者数
1	1月30日(木)	自分のいいところを見つけよう	7名
2	2月6日(木)	こころの柔軟性をつけよう	8名
3	2月13日(木)	農場を訪ねて「働く準備」を考えよう	8名
4	2月19日(水)	会話のきっかけ&質問力 ～味方ができれば質問もしやすい！～	7名
5	2月26日(水)	働く現場をのぞいてみよう	5名

〔11〕子育て世代に対する支援〈基幹包括支援センター〉

本年 10 月から受託した「子育て世代包括支援センター事業」および「母子保健事業」は、産前から子育て世代に関わり、社会的援護を要する家庭の発見・相談・専門機関の紹介などの情報提供を行うとされており、10 月～3 月末まで受理した妊娠届けの受付・母子健康手帳の交付および保健師による面接は 7 件であった。

妊娠・出産・産後・子育ての期間を通じて、相談があつたり支援が必要な人には、保健医療、福祉の関係機関と連絡調整を行ったり、電話・来所・訪問等を行った。

また地域で開催している子育てサロンに出向き、産婦および乳幼児等に対する・相談支援・情報提供を行った。

来所相談	10 件
訪問相談	83 件
電話相談	68 件
情報収集	19 件
関係機関連絡調整	151 件

〔12〕地域自殺対策強化事業〈基幹包括支援センター〉

本年 10 月より受託した地域自殺対策推進事業では、地域のつながり・支えあいで自殺を防ぐことを目的に、講座・イベント・相談支援等を企画した。親しい人を亡くされた方の悲しみ・嘆きとそのケアについて学ぶ市民向け講座については、葬儀会社にも周知に協力いただき 50 名を超える申し込みをいただいていたが、新型コロナウイルス感染症予防のために、残念ながら中止となった。また、事業受託前の 8 月には、夏休み明けに増加する子どもの自殺を防ぐために全国でとりくまれた「不登校は不幸じゃない」運動の泉佐野版として、社会福祉協議会独自でのイベント開催も行った。

（1）一般市民啓発活動

開催日 / 令和 2 年 3 月 10 日（※新型コロナのため中止）

場 所 / 社会福祉センター 2 階 大会議室

内 容 / 「大切な人を亡くされた方へ」

講 師 / 関西学院大学 教授 坂口 幸弘氏

（2）支援者養成事業

開催日 / 令和 2 年 2 月 4 日

場 所 / 社会福祉センター 2 階 大会議室

内 容 / 「高齢者の生きる意欲を引き出す」

講 師 / 関西福祉科学大学 教授 津村尚子氏

参加者 / ケアマネジャー等 48 名

（3）社協独自事業

開催日 / 令和元年 8 月 18 日

場 所 / 社会福祉センター 2 階 大会議室 ほか

内 容 / 「不登校は不幸じゃない in いずみさの」
 不登校経験者の体験談、参加者同士の交流など
 参加者 / 学校に行きづらい子どもとその保護者 計 26 名

(4) 相談支援事業

対面相談 21 件 訪問相談 47 件 電話相談 132 件

〔13〕 広報宣伝活動の推進と備品の貸し出し

社協機関紙「社協だより」を年 6 回発行し、社協活動を PR するとともにホームページ、ブログにより広く情報提供を行った。また、地域の福祉活動を応援するべく、社協備品の貸し出しを行った。

(1) 社協だよりの発行 年 6 回 (5 月・7 月・9 月・11 月・1 月・3 月)

(2) 社協ホームページの運営 年間閲覧件数 延 53,168 件

〔14〕 日常生活自立支援事業の推進

判断能力の十分でない認知症高齢者や障がいのある方を対象に、契約によって、生活の相談に応じたり、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等のサービスを行うことで、自立した生活がおくれるよう支援を行っている。

なお、成年後見等開始の審判市長申立については、市と連携を図っている。

※ 契約・活動 件数

内 容 対象者 状況	本事業の利用に関するもの			合 計
	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	
活 動 件 数	510	857	1,049	2,416
新規契約件数	3	4	2	9
契 約 件 数	10	22	22	54

〔15〕 社会福祉協議会会員組織の充実と自主財源の強化

社協会員会費制度の継続加入を図り、各町内会・福祉委員会他、福祉関係団体の協力を得て、7,428,600 円 (昨年比-300,900 円) の浄財が寄せられた。そのうちから、地域の福祉活動に利用していただく為、会員会費の 50%を還付した。さらに、地区福祉委員会活動に 10%還付した。

協賛会員制度については、320,000 円の浄財が寄せられた。

1. 各地区・社協会員会費募集状況

一 小 地 区	1, 4 9 9, 0 0 0 円
二 小 地 区	5 4 0, 0 0 0 円
三 小 地 区	6 7 4, 0 0 0 円
日 新 地 区	1, 1 2 1, 1 0 0 円
中 央 地 区	4 0 0, 0 0 0 円
長 滝 地 区	6 0 7, 5 0 0 円
北 中 地 区	7 7 6, 0 0 0 円

南 中 地 区	2 6 0, 0 0 0 円
長 坂 地 区	3 3 2, 0 0 0 円
佐 野 台 地 区	4 5 9, 0 0 0 円
上 之 郷 地 区	2 5 0, 0 0 0 円
日 根 野 地 区	3 0 0, 0 0 0 円
末 広 地 区	1 2 0, 0 0 0 円
大 土 地 区	9 0, 0 0 0 円
合 計	7, 4 2 8, 6 0 0 円

2. 協賛会員会費募集状況 (1口 10,000円)

泉佐野市長生会連合会	社会福祉法人 いちよの森
社会福祉法人 光会	社会福祉法人 常茂恵会
社会福祉法人 泉ヶ丘福祉会	社会福祉法人 水平会
社会福祉法人 犬鳴山	社会福祉法人 和泉の国
社会福祉法人 清光会	泉佐野地区 保護司会
社会福祉法人 来友会	社会福祉法人 泉佐野ルーテル福祉会
社会福祉法人 アムリタ	社会福祉法人 あおい会
社会医療法人 栄公会	社会福祉法人 杉の子会
社会福祉法人 日新親友会	社会福祉法人 日根野福祉会
社会福祉法人 清和会	社会福祉法人 幸楽会
NPO法人 いきいきくらぶ	泉佐野ロータリークラブ
社会福祉法人 みやび	土丸町会
民生委員児童委員協議会	大木町内会
泉佐野商工会議所	大阪いずみ市民生活協同組合
いいね合同会社	日王株式会社
泉佐野地球交流協会	

[16] 共同募金事業の推進

1. 赤い羽根共同募金運動

10月1日から12月31日にかけて赤い羽根共同募金運動として広く市民に協力を呼びかけ、戸別募金、街頭募金（7回）等を実施した。市内小中学校にも協力を依頼し小学校8校、中学校1校にて児童、生徒による募金活動が行われた。

募金額 2,604,017円（昨年比 +16,830円）

2. 歳末たすけあい運動

“地域でささえあうあったかい地域づくり”のスローガンにもとづき、「歳末たすけあい運動」を実施した。多くの浄財が寄せられ、ひとり暮らし高齢者の交流会や児童が書いた年賀状の送付などに配分をし、福祉の増進に役立たせていただいた。

募金件数 49件 募金額 926,785円（昨年比 -233,479円）
 払出金額 1,116,039円

〔17〕 低所得世帯への支援

低所得者世帯や高齢者・障がい者世帯、生計中心者が失業した世帯等に対して、大阪府生活福祉資金貸付の窓口として相談・申請を受け付けるとともに、必要に応じて生活困窮者自立相談支援機関や民生委員を紹介した。

相談件数	221件		
貸付種類	生活福祉資金 (総合支援資金を除く)	総合支援資金 ※臨時特例つなぎ資金含む	緊急小口資金
申込件数	7件	0件	4件
申込金額	2,482,000円	0円	370,000円

新型コロナウイルスの影響を受け、減収や失業した世帯等に対し「新型コロナウイルス感染症特例」として相談・申請を受け付けるとともに、必要に応じて生活困窮者自立相談支援機関や基幹包括支援センターとの連携を行った。

相談件数	72件	
貸付種類	特例貸付 緊急小口資金	特例貸付 総合支援資金
申込件数	11件	2件
申込金額	1,400,000円	960,000円

〔18〕 市立社会福祉センターの管理運営

社会福祉センターの管理運営業務を受託し、施設の環境を整備するとともに利用者が快適に利用できるよう、設備機器の保守点検を委託契約した。

職員研修では、自衛消防訓練やAED取り扱い研修会等を実施した。

1. 高齢者・障がい者交流会の開催

開催日	研 修 会 名	参加者数
9月24日 (火)	令和ふれあい交流会 「いつまでも 元気で暮らす ええ話し」 基幹包括支援センター職員 「バラエティバンド・ラブリー」 歌謡曲・健康体操・マジック等 社会福祉センター2階 大会議室	88名
3月16日 (月)	福祉センターふれあい交流会	※新型コロナウイルス感染症 予防の為中止

2. 福祉センター利用状況

大広間利用者数	娯楽室利用者数	老人福祉センター (健康機器)
5,262 名	7,647 名	541 名

※大広間 詩吟・大正琴・健康麻雀・カラオケ・華道・シニアソロバンのクラブが使用

※娯楽室 囲碁・将棋のクラブが使用

会議室利用件数

	小会議室		大会議室		合計	
午前	121 件	2,021 名	149 件	1,955 名	270 件	3,976 名
午後	194 件	3,472 名	183 件	6,683 名	377 件	10,155 名
夜間	111 件	2,098 名	12 件	566 名	123 件	2,664 名
合計	426 件	7,591 名	344 件	9,204 名	770 件	16,795 名

扇湯シャトルバス運行日数及び利用人数

運行日数 154 日

扇湯行 915 名

福祉センター行 800 名